

# 2023年2月 カンボジア訪問

## 報告書



期間：2023年2月11日～2023年2月19日

訪問地域： プノンペン、 カンボット州  
シェムリアップ州、 バンティミンチャイ州

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン  
(CMC)

## 2023年2月11日福岡空港よりマニラ経由フィリピン航空便で出発



マニラ空港で5時間待ちは辛かった

## 2023年2月12日 トゥールスレン虐殺博物館 視察

ベトナム戦争後、1975年～1979年カンボジアを支配したポルポト派（カンボジア共産党）により、反共を理由とした国民への強制収容・拷問が行われた場所。  
2万人以上が収容されていたが、解放時には7名しか生き残っていなかった。  
その生き残りの一人チュンマイさんとお会いすることが出来た。



1953年11月9日にフランスから独立したことを記念して、1958年3月に建てられた独立記念塔を視察。

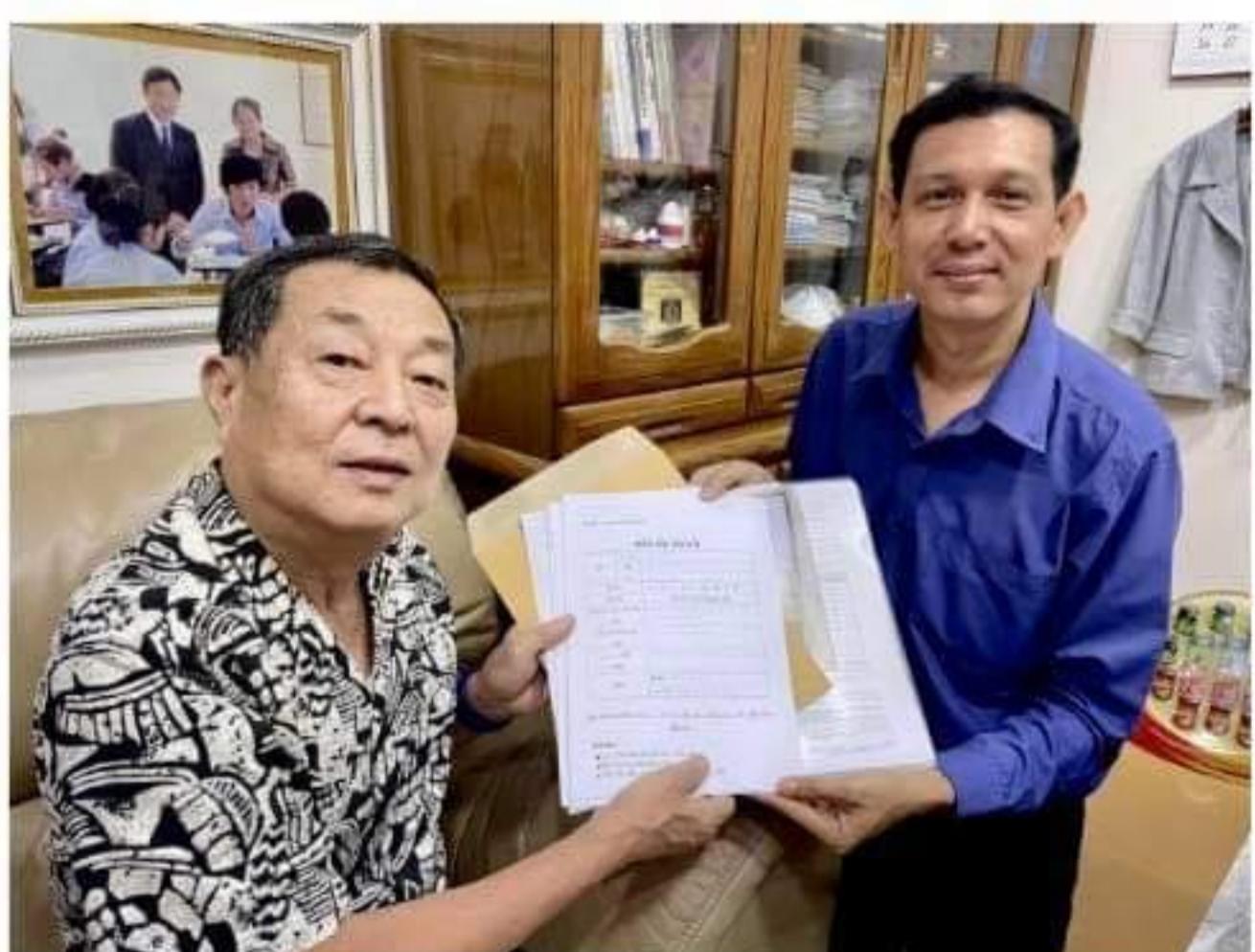
その周囲にあるフンセン首相の邸宅（新しく大邸宅が完成し移転したが、その後も使用されている）やその隣にある北朝鮮大使館（故元シアヌーク国王邸宅）を視察。



## 2023年2月13日 プノンペン王立大学外国語学部日本語学科訪問

西日本カンボジア友好協会から奨学生を受けている3人（ナーティさん、ヘイア君、スウェイニー君）と今年度日本語弁論大会の優勝者タイ君。

そして日本語学科のキム・ニピセット学科長、ロイ・レスミー外国語学部副学部長と懇談、奨学生の報告書や次年度奨学生希望者の作文などを受け取りました。



## 2023年2月14日 サタパナ銀行訪問

2年前に完成したばかりのサタパナタワービル18階で黒木賢治 副頭取と小森雄太 ジャパンデスクマネージャーにカンボジア経済についてのお話しを伺いました。

カンボジアへの投資国は、全体の4分の1を中国が占めるなど他を圧倒していますが、日本も戦略的パートナーシップ協定を結んでおり、カンボジアにとって重要な国と位置づけられています。

1999年に絶頂期にあった観光業がコロナ禍により、壊滅的な打撃を受けるとともに人的な交流も滞っておりましたが、ようやく回復に向けて動き出したところです。



## 2023年2月14日 在カンボジア日本大使公邸訪問

在カンボジア日本大使公邸で、植野篤志 特命全権大使から外務大臣表彰のお祝いとして、晩餐会を催して下さいました。

コロナ禍で人の移動が不自由な中で前任の三上大使がベルギー大使兼NATO担当大使として転出され、今年に入って植野大使が着任されたばかりです。

これまで25年間のCMC活動を評価頂き、この上なく名誉に存じます。



## 2023年2月15日カンボット州マウ・タヌン州知事と会見

プノンペンのホテルを7時に出てカンボット州に向かいました。州からの要請で、CMCに学校建設をお願いしたい場所があるとのことで、現地視察が目的でした。10時過ぎに州の博物館に設けられた会場に到着し、マウ・タヌン州知事や副知事、教育局長や各郡の長からの説明を受けました。

カンボット州は1970年代から90年代後半まで、ポルポト軍の支配地で戦闘が激しく多数の地雷が埋設されていた地域です。



## 2023年2月15日カンボット州教育局長・郡知事と会食

視察前にランチタイムが来たので、カンボット教育局長・郡知事と海の辺りにある、素敵なレストランに案内されました。一帯に塩田があり塩作りが行われていて、静かで牧歌的なところです。



# 2023年2月15日 チューク郡のプレイトップ小学校等訪問

カンボット州では、3ヶ所の学校建設希望地があり、それらを案内にしたがって全て周りました。その中で、私たちが緊急に必要性を感じたのは、チューク郡のプレイトップ小学校でした。

340人の生徒がいるのに3教室の校舎が1つだけ。以前はもう3教室がありましたが、老朽化で使える状態ではない。今は3部授業で回しているが、それも限度だと分かります。義務教育は平等に受けさせたいですね。

新たにスポンサーに相談するなど資金作りが必要となります。



## 2023年2月16日 シン・ブンレーン内務長官へ報告

シン・ブンレーン内務長官（副大臣）の自宅にカンボット州視察の報告に伺いました。長官はの奥様はフンセン首相の妹で、義理の弟にあたります。また、カンボット州のマウ・タヌン知事は、シン・ブンレーン長官の息子さんになります。CMCの25周年事業として取り組めるかどうか今後検討して行きたいと思います。



## 2023年2月16日 鬼一二三日本語学校（国際日本文化学園）訪問

シェムリアップに到着後、鬼一二三日本語学校へ。

鬼さんはカンボジアで28年活動されていますが、学校や仕事に行く前や、仕事が終わってから勉強に来る生徒もおり、毎日が長時間労働になります。子供たちの真剣に学ぶ姿に感動しました。



## 2023年2月16日 カンボジア地雷博物館 視察

1997年から2007年までは、アキラ手作りの博物館で自分が撤去した地雷を展示して、募金を集めながら地雷の恐ろしさを伝えていました。現在は海外NGOの支援を受け、バンティスレイ遺跡の近くに移転し、展示を続けています。CMCは2000年からアキラの支援を続けています。



## 2023年2月16日バンティスレイ地雷原へ

現在CSHDが活動しているのはバンティスレイ（CMAA 04088 B）地雷原へ。簡単なブリーフィングの後、地雷撤去現場に向かう。気温35度の暑さの中、7人の女性を含むチームは黙々と作業を続ける。今日は旧ソ連（現ロシア）製の破片式地雷が発見された。CMCからのドネーションの後、爆破作業を行い、撤去作業の視察を終了しました。



# 2023年2月17日 CMCコートライ夢中学校 訪問

昨年11月に新校舎の落成式を行なった「CMCコートライ夢中学校」へ。2008年9月に佐世保青年会議所のお力添えで完成し、生徒数の増加により2021年6月に3教室の増築が今回の参加者を含む皆さまの協力により実現しました。短くも楽しい交流の時間、年内にはトゥールポンロー中学校とのサッカー⚽️交流試合もやりたいと思います。子供たちとの交流は楽しかったですね。



CMCコートライ夢中学校の新校舎は、クラウドファンディングに出資頂いた皆さん及び、ご支援企業のご協力により完成する事が出来ました。  
改めて御礼申し上げます。  
現在の子ども達の笑顔と将来のカンボジアの礎になると信じています。



# 2023年2月17日 CMCトゥールポンロー中学校 訪問

バンティミンチャイ州マライ郡に2011年に建設した「CMCトゥールポンロー中学校」へ。マライ郡はバンティミンチャイ州の中でも地雷被害が最もひどい地域で、建設に際し校舎の敷地からだけでも200発を越える対人地雷が発見され、前の道路からは対戦車地雷も見つかりました。

2020年2月のコートライ中学校とのサッカー交流試合で、サッカーチームの皆さんや先生方とはお会いしましたが、学校訪問は実に丸4年振りになります。マライ郡内の中学校とのサッカー試合を観戦しました。



トゥールポンロー中学校で感銘を受けたのは、CMCがコロナ禍で訪問出来ない中でも、着実に自立して学校運営を行ってきた事でした。

日本からは勿論、CMCの現地事務所はバッタンバン州に在り、州を跨いでの往来が禁止された時期が長くありました。その間にも、新たにサッカーコートを作り、溜め池や野菜農園、遠くから来る生徒の為の寮や炊事場、そして校舎の管理を監視カメラで行っているのには驚きました。また、ゴミの分別、焼却などSDGsに取り組んでいる事に感銘を受けました。

